

地域探究類型、御嵩町と連携して研究を開始！ 生徒会の取り組みに端を発する研究が可児市作品展で特選受賞！

【令和7年9月5日】



地域探究類型の2年生が9月4日(木)、御嵩町役場を訪問し、今後の地域探究の進め方について、企画課の安藤様とまちづくり



り課の栗谷本様よりアドバイスをいただきました。その中で名鉄広見線の歴史に加えて、その重要性や今後の課題についてのお話を伺い、町

からは、町や駅前が活性化するためのアイデアを募られました。また、御嵩町の郷土史家、廣瀬五郎様の残した功績を出版物としてまとめていきたいという意思も確認しました。翌5日(金)には中山道御嵩宿の中心に位置し、御嵩宿本陣の筋違いの現在地で旅籠屋を営んでいた古民家を改装したカフェ「かしわ屋」を訪れ、建物内部を見学し、当時の姿を回想しました。



夏休みに東濃高校を訪れてくれた小学3年生の亀谷弥生さんの夏休みの研究「のこす？バスにする？どうなる？名鉄広見線！」が可児市社会科作品展に出展され、特選を受賞して県出品候補になり



ました。この研究には、生徒会が中心となって行った名鉄広見線の署名活動に関する生徒の意見も反映



されています。改めて人と人との繋がりがや広がりを感じさせられる嬉しい出来事でした。